

令和6年度地域ケア会議実績報告について

地域ケア個別会議とは、何らかの課題を抱えた個別ケースについて、本人の支援に関わる総体的な内容について検討を行う会議である。

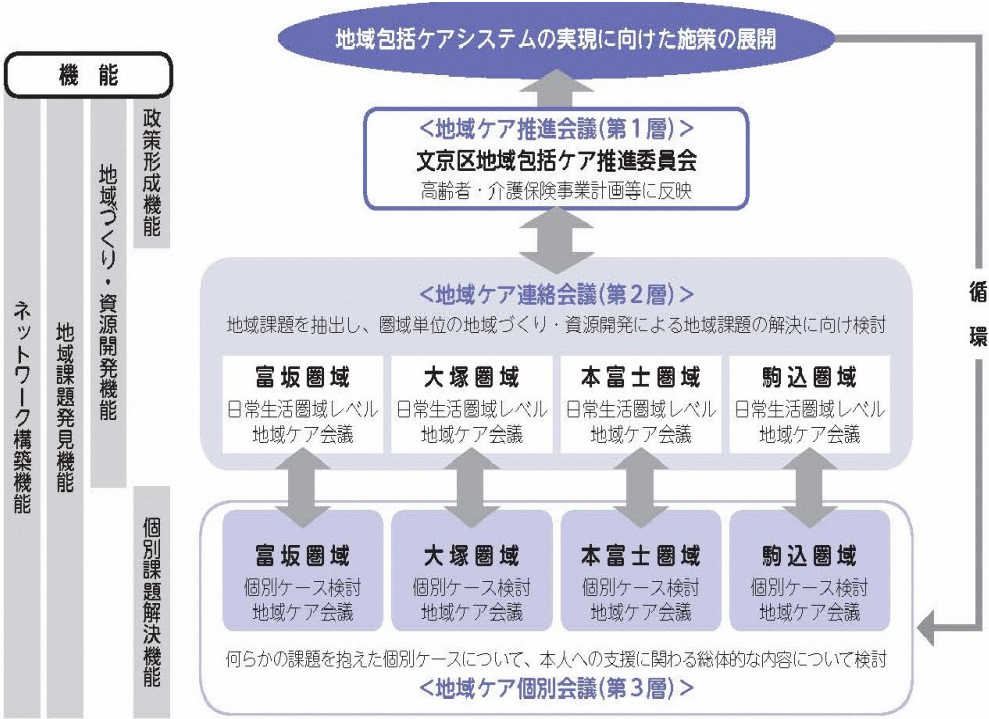
地域ケア連絡会議とは、個別地域ケア会議の積み重ねから地域課題を抽出し、圏域単位の地域づくり・資源開発による地域課題の解決に向けて検討を行う会議である。

事例確認会では、居宅介護支援事業所及び高齢者あんしん相談センターから提出された事例の中で地域ケア個別会議に提出する事例を選定する。

1 各圏域における地域ケア会議開催実績

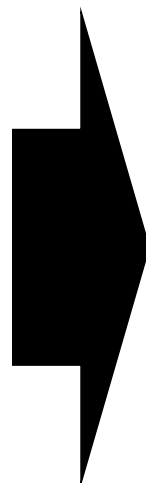
圏域	名称	内容
富坂	事例確認会（2回）	居宅介護支援事業所及び高齢者あんしん相談センターから提出された事例を確認し、個別ケア会議及び連絡会議に提出する事例を選定した。
	地域ケア個別会議（2回）	個別事例の支援への検討を行い、地域の共有課題の発見を行った。
	地域ケア連絡会議（2回）	個別ケア会議で抽出された課題に対し、日常生活圏域レベルで検討を行った。
大塚	地域ケア個別会議（4回）	個別ケースについて、本人にとっての最善の支援をケア会議にて検討した。
	地域ケア連絡会議（2回）	個別会議で出た課題をどのように地域づくり及び社会資源開発につなげていくかを検討した。
本富士	地域ケア個別会議（4回）	提出された個別ケースについて話し合い、今後の方針について検討を行った。
	地域ケア連絡会議（2回）	対応困難なケースの対応策の共有を行いつつ、地域で多職種がつながれる仕組みについての意見交換を行った。
駒込	地域ケア個別会議（5回）	認知症や精神疾患を持つ高齢者等の個別事例を話し合い、社会資源に繋げていけるよう検討を行った。

（参考）地域ケア会議の全体構成イメージ



2 個別会議及び連絡会議における検討状況（事例抜粋）

地域ケア個別会議（第3層）		
テーマ	検討内容	対応策（案）
ごみ問題	本人と要介護4の夫と二人暮らし。 自宅にゴミが溜まり、近隣住民より苦情が出ているケース。本人は夫の介護も行っている。住み慣れたマンションを追いつけられず、衛生的な環境で暮らして行くための支援について検討。	・ 本人の生活歴や現在に至る背景を聞きとり、情報の蓄積をする。 ・ 夫のケアマネに対して支援し、孤立しないようにする。 ・ 片付けられない理由を考え、環境改善に向けた支援体制を整える。
介入拒否・契約拒否	日頃、他者との交流がなく、認知症等が疑われる。 本人の体調不良の訴えが続いており、訪問診療や介護保険サービスなどの導入が必要だが、介入拒否しており必要な支援につながらないケースについて検討。	・ ヘルパーの買物代行により最低限の食料と水分を確保する。 ・ 定期的な訪問診療を受け入れて最低限の医療介入ができるようになる。 ・ 成年後見制度の利用に向け働きかけ、本人が安心して過ごすことができるようにする。
重層的支援	認知症の本人、認知症と心疾患のある夫、統合失調症の次男の三人暮らし。家族の構成員の判断力に課題感があるため、緊急時の対応が困難なケースについて、どう対応していくべきか検討。	・ 家族全体を俯瞰してのアセスメントを実施する。 ・ 重層的支援体制づくりのため、各支援機関との連携や情報共有を実施する。



地域ケア連絡会議（第2層）		
地域課題	支援方針	区レベルでの検討が望まれる課題
物屋敷となり、片付けられない人への関わりと支援について	・ 片付けられない人の背景をアセスメントする事で、片付けられない理由を探る。 ・ こだわりの特性によって、ごみを出せない理由も様々ある為、その人に合った対応と工夫を検討する。 ・ 物がないと不安に感じてしまう人に対して、不安の元となっている物に対して話を聞いていく。	① 時間に合わせてごみを捨てられない人への対応方法やサービスの検討 ② 片づけが必要な人に対して、一体的な支援を行うための専門の相談窓口や連携の仕組みの構築
医療や看護に関して利用までのハードルが高い。他自治体で提供される訪問診療や訪問看護のお試しのサービスについて	・ 他自治体での先行取組を参考に、訪問看護のお試しサービスや訪問介護のコツを学ぶ支援事業を実施する。	① 訪問看護等のお試しサービスの検討
重層的支援体制の構築に必要なことは何か	・ 重層的支援体制の構築に必要な3本柱である、相談支援・参加支援・地域づくりを中心に、支援体制を整えていく。	① 重層的支援体制の構築